

だい 第11課 か

ふく やく かい じょ
服薬介助



薬は適切な時間に飲むことが大切です。薬を飲みながら利用者に上手に声かけができるようにしましょう。

◆パートIIのE

* プラセボ

スク립トにあるように、ニセの薬です。薬としての効き目はない乳糖やでんぷんなどを錠剤やカプセル剤などにして、薬のように見せかけた物をいいます。プラセボの語源は、ラテン語で「私は喜ぶだろう」という意味です。

※placere<プラケーレ>「喜ぶ」 → placebo「私は喜ぶだろう」

◆覚えておきたい「薬のことば」

* 薬のことわざ

「薬」に関することわざは、他にもたくさんあります。学習者に調べてくるというタスクを課すのもいいですし、合ったものを拾って取り上げてもいいと思います。

- ・ 一に看病、二に薬
- ・ 酒は百薬の長
- ・ 毒にも薬にもならない
- ・ 薬になる
- ・ 天井から目薬
- ・ 青葉は目の薬

* 「薬は副作用」

ワクチンは「副反応」、薬は「副作用」ですが、中には混同している人もいます。

◆全体

学習者の中に、服薬介助をより詳しく学びたい人がいたら、次のような注意点を挙げるのもいいと思います。

- ・ ベッドでの解除の場合は、背もたれの角度を調整します。または横向きにします。
- ・ 基本的には「水」ですが、飲みやすくするために「ぬるま湯」にすることもあります。
- ・ 誤薬をなくすために、服薬ボックスなどを作ります。
- ・ 薬がきちんと飲み込んでいるか確認します。